# 

# ■ねらい、出題の内容、今後の学習指導のために

# - 言語事項に関する問題

#### 【ねらい】

中学校までに学習した漢字や慣用句を出題し、言語事項についての理解度、定着度をみる問題で す。

# 【出題の内容】

漢字の書き取り、慣用句に関する問題です。

# 【今後の学習指導のために】

語彙を豊かにすることは国語の基本です。また、慣用句などの言葉の特徴やきまりについても基 礎的な力を身に付ける指導が求められます。

# ニ 韻文・短歌

# 【ねらい】

複数の俳句を提示し、理解と鑑賞力をみる問題です。今年度は、「空」に関連する俳句からの出題です。

【作者】俳句A 篠原梵

高浜虚子 C 廣瀬直人

D 加藤楸邨

E 佐野青陽人 F 高野素十

В

# 【出題の内容】

- 1 基本的な俳句についての知識をもとに、俳句に詠まれた情景を読み取る問題です。
- 2 基本的な俳句についての知識をもとに、俳句に詠まれた情景を読み取る問題です。
- 3 俳句についての鑑賞文をもとに、俳句に詠まれた心情や情景を読み取る問題です。

#### 【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いや情景を読み取る力 を養うことが大切です。一つのテーマを決め複数の作品を関連付けて指導することも有効です。

# 三古典

【ねらい】

基本的な古典の読解を通して、基礎的な知識や読解力をみる問題です。

### 【出典】

「西京雑記」

#### 【出題の内容】

- 1 古典の基礎である歴史的仮名遣いの問題です。
- 2 訓読文から正しい漢字仮名交じり文を選択させ、漢文訓読の決まりの理解を確認する問題です。
- 3 本文と話し合いの内容を根拠に登場人物の考えについて記述させることにより、本文の理解を確認する問題です。

#### 【今後の学習指導のために】

古典に親しむ態度を育て、音読などを通して話の展開や内容を根拠を持って読み取る力を身に付けさせることが大切です。我が国の文化や伝統に親しむ態度を育てることも必要です。

# 四 文学的文章

#### 【ねらい】

文学的な文章の読解を通して、場面の展開や心情の変化を読み取る力、表現力などをみる問題です。

#### 【出典】

作品 『だいじな未来のみつけ方』大崎梢 (『だいじな本のみつけ方』所収)

#### 【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 登場人物の会話から、場面に設定された事実を適切に正しく読み取る問題です。
- 3 登場人物の会話から、本文全体を通読した上で事実を適切に正しく読み取り、定められた字数でまとめる問題です。
- 4 登場人物の会話を朗読するという言語活動を通して、登場人物の心情を根拠を持って正しく読み取る問題です。
- 5 登場人物の所作から、登場人物の心情を正しく読み取る問題です。
- 6 登場人物の心情変化と状況変化との関係を根拠をもって考えることを通して、本文についての理解を確認する問題です。

# 【今後の学習指導のために】

文学的文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などを根拠に登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。また、授業において、朗読などの言語活動を充実させたり、表現上の差異を考えさせたりすることも求められます。

# 五 説明的文章

#### 【ねらい】

説明的文章の読解を通して、論理的な思考力や読解力をみるための問題です。

### 【出典】

「芸術学事始め――宇宙を招くもの」小林道憲

#### 【出題の内容】

- 漢字の読み方に関する問題です。 1
- 熟語の構成に関する問題です。 文章全体の前半部を読み取ることができているかを確認する問題です。 3
- キーワードの理解を確認する問題です。 4
- 文章全体における、ある段落の働きを確認する問題です。
- 文章全体から根拠を明確にして筆者の意見を捉えているかを確認する問題です。 6

# 【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を把握し、文章の要旨を捉える力を身に付けさせること が求められます。また、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書 くこと」のバランスのとれた指導が望まれます。

# 六 条件作文

#### 【ねらい】

非連続型テキストに表された異なる意見を比較し評価した上で、それに対する自分の考えを非連 続型テキスト上の事実や自分自身の知見を根拠に書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総 合的にみる問題です。

### 【出題の内容】

グラフから読み取ったことに対して自分の考えや意見を述べる問題です。

# 【今後の学習指導のために】

連続テキストや非連続テキストについて内容を読み取り、そこに表されている事実や自分自身の 知見を根拠として自分の考えや意見を書く力を身に付けさせる指導が望まれます。

### ■まとめ

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習 得が求められます。そして、「話す・聞く」「書く」「読む」という各領域相互の関連を図り、言語活 動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。

# ■正解と正答率表

( )内は部分正答率

問	問題		正	解		正答率
大	小			%		
_		(1)		洋(れ)		89.8
		(2)	損	(ねない)		66.3
	1	(3)		寒暖		74.5
		(4)		提唱		42.8
	2	ア				61.6
	1	F				74.5
=	2	D				75.1
	3	(1)	2	空さわぐ		69.7
		(2)		ア		45.0
	1	いわく				94.8
	2	1				78.7
		(1)		石		88.6
三				な気持ちて		14.9
	3	(2)		りには不可能		(29.1)
				えできるとい	うこ	
			と。			
	1	Α		ょうせん		99.6
		В	Z	ふ (き)		94.8
	2		79.1			
	3	時間を短くも長くも感じるほど				11.4
四		作品	ュの世界に引	き込まれる	体験。	(41.8)
	4	エ				86.7
		(1)		gのはめんと	ごうだ	80.9
	5	L	から助かっ	うちゃう		
		(2)		1		38.8

問題			正	解		正答率
大	小					%
四	6	と実は	論までした  忘れていた  ち込んだが	ぶ自分に近い □読み聞かせ □思笑出だを □にないないできる。 ○によった	が、 気づ うル	2.8 (22.9)
	1	A		よみん		97.8
		В	てる	ざわ(り)		95.6
	2			エ		75.3
	3	(1)		ア		66.9
五		(2)	物の形を目	でなぞって	いる	89.4
						(0.2)
	4			エ		35.5
	5			オ		57.0
		制作	:者が身体全	全体で対象に	働き	1.8
	6	かけ	、同時に対	†象から働き	かけ	(22.1)
		られ				
				い共通感覚		
		ての	感動を表現	見できるから	0	
六	与	えられ	れた条件の	もとで、述べ	ヾられ	16.1
	71	いる	こと。			(70.5)